

日本舞踊 正派 岩井流 宗家
岩井友見 YUMI IWAI



誕生日 1951年5月3日

星 座 おうし座

出身地 東京

血液型 AB型

歌舞伎俳優・10代目岩井半四郎の長女として生まれる。祖父の・花柳寿太郎の遺言で舞踊の道へ入る。昭和24年日本舞踊岩井流宗家を継承。3歳で歌舞伎座において舞踊の初舞台を踏む。芝居の初舞台は昭和45年明治座、昭和43年にNHK大河ドラマ「竜馬が行く」にてテレビ初出演。以来、舞台、テレビ、映画にて活躍中。また日本舞踊を通じた国際親善にも力を入れ、国際文化交流に貢献。創作きもの「友見の舞い」を発表し、きものデザイナーとしても多くの支持を得る。

《岩井友見の歩み》

昭和29年 3歳で歌舞伎座にて日本舞踊の初舞台を踏む。演目は「蟬丸」。

昭和42年 祖父の遺言にて本格的に舞踊の道へと進む。

昭和44年 NHK大河ドラマ「竜馬が行く」でテレビデビュー。
TBS「水戸黄門」第1部に深雪役で出演。

昭和45年 大映映画「秘剣破り」で映画デビュー
明治座にて「婦系図」で本格的舞台デビュー。
舞踊においては父・半四郎とともに、毎年国立劇場にて「岩井会」を開催。
「大川橋蔵 特別公演」にて銭形平次の女房役『お静』を務める。

昭和51年 東宝スター船戸順と結婚。

昭和52年 キャベジンのCMにて、森繁久彌氏と共演。

昭和56年 日本舞踊岩井流家元を襲名。

昭和57年「北島三郎 特別公演 風雲流れ旅」に出演。

昭和59年 創作きもの「友見の舞い」を発表。大阪・中座にて「岩井友見 特別公演」を行う。

昭和60年 情報バラエティ「独占！女の60分」(テレビ朝日)のメイン司会となる。

昭和63年 トーク番組「あいたくて夢気分」(テレビ朝日)のメイン司会となる。
外務省の要請にて交際文化交流を始める。
「ワシントンさくらまつり」に参加。岩井流日本舞踊をアメリカで初披露。
外務省より感謝状授与。

- 平成元年 ヨーロッパにて初めて岩井流日本舞踊を披露。
ドイツ「ボン2000年祭」に参加。スイスジュネーブの国連大使公邸にて50カ国の
国連大使の前で踊る。
昭和51年より続いているキャベジンのCFにてCM ACC大賞薬品部門第1位受賞。
写真集「踊る」出版。
- 平成3年 親善大使としてタイ・マレーシア・インドネシアにて岩井流日本舞踊を初披露。
扶桑社より初執筆の「桜吹雪 岩井半四郎一家」を出版。
- 平成4年 一連の国際文化交流の功績に対し外務大臣表彰を受ける。
情報バラエティ「朝からJOきげん」(テレビ朝日)レギュラー司会となる。
創作ジュエリー「Yumi-Iwai」発表。
- 平成6年 芸能活動25周年公演として全国巡演。
- 平成7年 NHKハイビジョン撮影による「芸能花舞台」に常磐津「お夏狂乱」にて出演。
- 平成8年 「日本の伝統芸能」(テレビ朝日)のレギュラー司会となる。
「doyouさんでー」(テレビ朝日ハイビジョン放送)のレギュラー司会となる。
阪神淡路大震災チャリティディナーショー「華の舞い」をホテルオークラ神戸にて開催。
ショーの収益を神戸市へ寄付。
- 平成9年 モナコ公国統治700年記念「ジャパンフェスティバル」に参加。
- 平成11年「健康」「高齢社会」などをテーマに講演を開始。
芸能生活30周年記念公演として、モナコ・オペラハウスにて「国際文化伝統の夕べ」
を開催、文化親善に努める。
芸能生活30周年記念ディナーショー「美登歳乃宴」を開催。
- 平成12年 九州・は方座にて、初めての岩井会開催。
古典舞踊「傾城道成寺」を原本に直して発表。
- 平成13年 森繁久彌米寿記念番組「鍵老人」(テレビ東京)共演。
テレビ東京「女と愛のミステリー・秋の特別番組」「黄金の犬」(松竹制作)出演。
- 平成14年 東京国立大劇場にて、岩井流家元襲名20周年記念の岩井会を開催。
- 平成17年 芸能生活35年記念リサイタル公演を東京国立大劇場・大阪国立文楽劇場にて行う。
愛・地球博EXPOドームにて「濃姫伝説」を発表。
豊田スタジアムで行われた、愛・地球博パートナーシップ事業「祭座ニッポン」の
総合プロデューサーを務める。
- 平成20年 NHK大河ドラマ「篤姫」歌橋役で第14話～第50話(最終話)まで出演。
NHKハイビジョン特集「城山三郎」城山の妻役(主役)で出演。
- 現在、日本舞踊宗家として、全国の後進指導と年2回の岩井会の開催。
きもの作家として「友見の舞い」の創作、女優としてテレビ・舞台に出演、
また文化人として多数の講演をこなす。

株式会社フジプランニング
〒144-0054東京都大田区新蒲田2-8-7 藤原ビル
TEL 03-3737-4004 FAX 03-3737-4008
担当:藤原 080-1215-2221
<http://www.fi-p.co.jp> E-mail:fuiiwara@fi-p.co.jp